



# 福井県D X推進本部 令和4年度 第2回本部会議

令和4年11月21日

# 次第

- 1. 本部長 挨拶**
- 2. 令和4年度の取組と今後の方針**
- 3. 取組状況の説明（3部局より）**

# 1. 本部長挨拶

福井県知事 杉本 達治

## **2. 令和4年度の取組と 今後の方針**

**D X 推進監 米倉 広毅**

# 01 取組方針の振り返り (令和4年度)

## 現場取組の拡大深化、デジタル行政・地域活性化を徹底

政策	生活	利便実感の取組 先行実施
	産業	企業の前向きな 取組を支援
	行政	ペーパーレス システム内製化
土台	市町	県取組共有 共同事業
	県	仕組み作り 1組織1取組

R3年度

分散社会の受け皿  
産業創出  
↓  
**地域活性化**

県民負担軽減  
災害・感染症 Ready  
↓  
**デジタル行政**

デジタル化  
↓  
**DX**  
データ×AI×機械化

考慮すべき変化

政策	生活	課題解決型サービス スマートエリア形成 (新幹線街づくり・Eコースト・敦賀港)	サービス連携基盤 (地域共通基盤・価値創造・資本効率向上)	県民デジタル接点強化 (ニーズ解析/傾聴・情報発信高度化)
	産業	現場ハンズオン支援 人材育成・供給		
	行政	手続自動化 基盤整備 (基幹業務標準化・マイナンバー活用 ゼロトラスト実証・アクセシビリティ確保)		

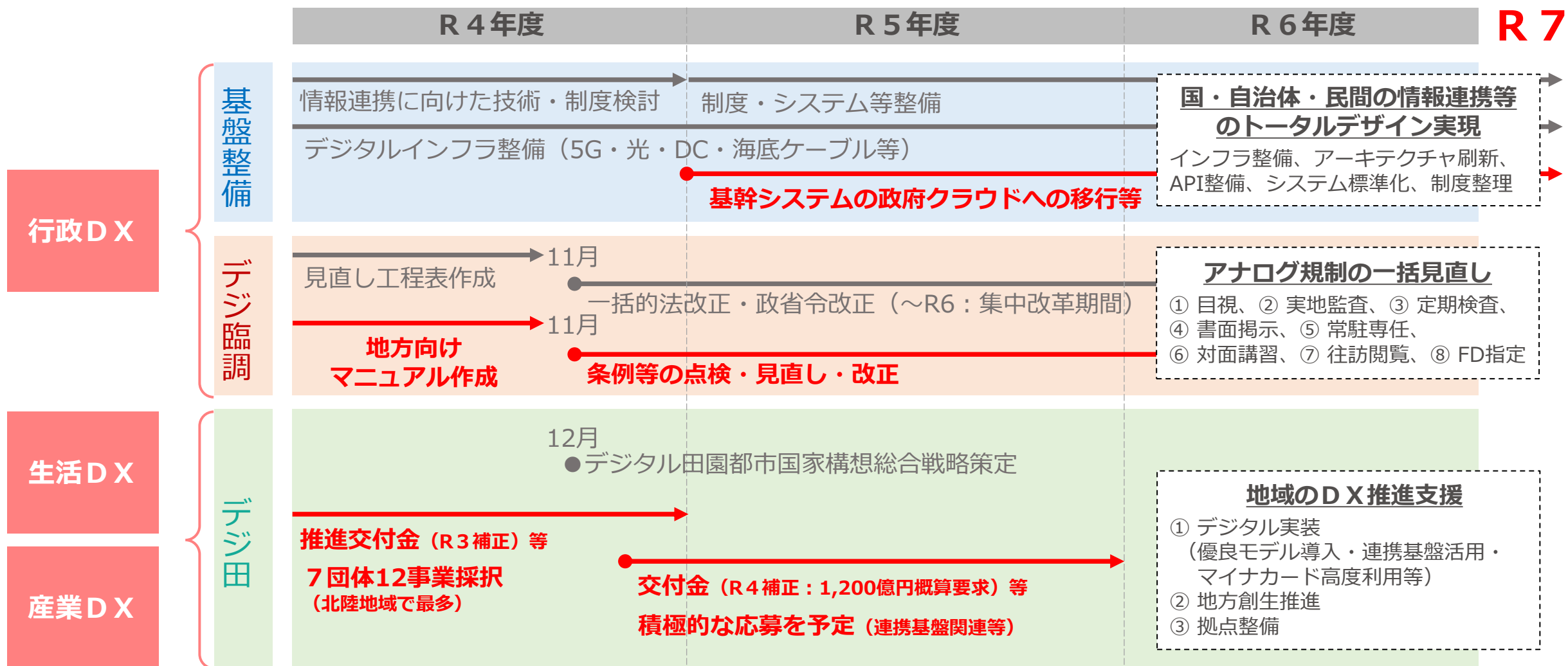
土台	市町	人材・技術面サポート 事業・システム共同化
	県	デジタルシフト制度設計 現場取組深化 (人材育成・現場業務改善・システム内製化チーム組成)

R4年度～ スマートふくいを実現



# 02 国の動きとも連携

## 令和7年度をターゲットに、意欲ある自治体として取組み



# 03 行政DXの取組 (県庁)

## 現場取組の拡大深化、行政手続の自動化を目指して取組み

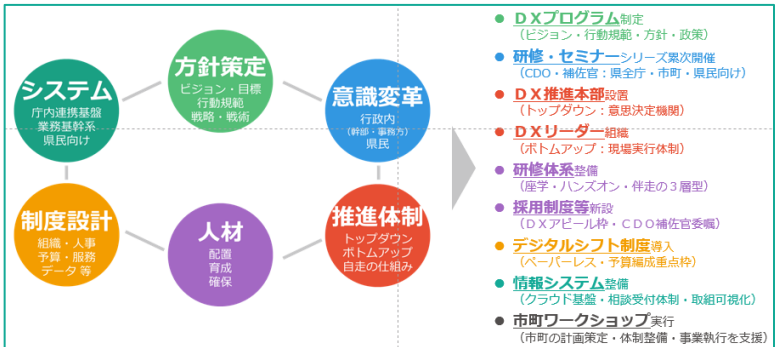
令和3年度

令和4年度

(現時点実績)

### DX推進の土台・仕組み作り

#### ● 推進体制整備 (意識変革・体制・熱量醸成)



#### ● 生産性向上に向けた第一歩

**RPAキャンプ**  
(年1万時間超削減)

**システム内製化**  
(自発的取組30超)

**データ分析**  
(民間専門家伴走)

### 現場取組みの拡大深化・行政手続自動化

#### 現場生産性向上

- **電子決定率** ▶ 98% (電子化困難なものを除く)
- **ペーパーレス** ▶ ▲42% (上期)
- **業務改善 (システム内製化)** ▶ 26所属80業務取組
- **庁内DXコミュニティ** ▶ 1,000名超参加
- **デジタル人材育成方針** ▶ R5年度に向け策定

#### 県民利便性向上

- **電子申請** ▶ 手続9割電子化に向けて取組
- **施設予約** ▶ 直感的UI/UXに見直し
- **ホームページ改善** ▶ アクセス解析により情報提供精度向上
- **デジタルマーケティング** ▶ 7業務で取組 (デジタル広告・広報におけるデータ解析)

# 04 行政DXの取組 (市町支援)

## 市町の熱量も高まり、基幹業務のクラウド移行に向けて支援

令和3年度

### 機運醸成・取組障壁の軽減

#### ● 意識変革・熱量醸成

##### ✓ 県CDOセミナー 7回

(各市町、副市长/町長会、  
縣市町議員向け等) ※計14回開催



##### ✓ 共同ワークショップ 4回

(関係構築、取組ノウハウ共有、  
実践研修、検討事業共有) ※計8回開催



#### ● 共同事業取組

##### ✓ 共同DX事業 7市町

(PJ誘致、民間連携、ハッカソン等)



##### ✓ システム共同利用

(電子申請、施設予約、電子調達、セキュリティクラウド  
ふく割、みち情報ネット等)

令和4年度

(県内17市町)

### DX推進の土台・仕組み作り、課題解決型サービス提供

#### 市町取組進展

- **推進計画策定** ▶ 12市町 (年度内予定)
- **推進体制整備** ▶ 10市町
- **クラウド基盤導入** ▶ 6市町 (年度内予定)  
※一部利用含めると9市町
- **デジ田事業採択** ▶ 6市町9事業 (国費2.1億円)

#### 支援強化

- **人材・技術面サポート**  
(民間デジタル人材による相談対応：  
推進計画策定、個別事業検討等)
- **サービス連携基盤活用**  
(健康管理、MaaS、施設予約等を議論)
- **基幹20業務システムの政府クラウド移行**  
(全市町での課題・取組共有、セミナー開催等により支援)





# 05 産業DXの取組

## 伴走支援強化、即戦力人材確保、モデル企業育成により裾野拡大

令和3年度

### 推進支援の体制整備

#### ● 推進体制整備

##### ✓ 拠点整備

(DXオープンラボ、5GBase等)



##### ✓ 推進チームによる支援

(専門家派遣、支援機関連携)



約200社支援、  
延べ1000名超セミナー等参加

#### ● 人材育成

##### ✓ エンジニア養成スクール

(35名修了：4割県内就職)



#### ● 資金支援（補助金）

##### ✓ 先端技術導入促進

(12社採択：AIによる自動検品等)



令和4年度

(現時点実績)

### 現場課題に対する支援強化・裾野拡大

#### 支援強化

- **出張型** ▶ 商工会議所等と連携（49件）
- **ハンズオン** ▶ 7ヶ月で昨年超え（216件）
- **小規模事業者向け** ▶ 補助金拡充（補助率2/3）

#### 人材確保

- **外国人材活用** ▶ モデル登用開始（民間へ派遣）
- **県外人材還流** ▶ 雇用補助金新設（3件）
- **人材育成** ▶ 実践的カリキュラムへ見直し

#### モデル

- **中小企業** ▶ 専門家による体制整備（5社）
- **ふくいDX推進宣言企業** ▶ 14社登録  
(専門家派遣+経営トップ自らDX推進：50社まで拡大)

# 06 生活DXの取組

## 課題解決型の取組に加え、

## 「課題解決の仕組み」の変革に挑戦

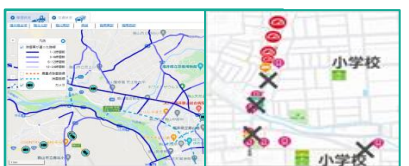
令和3年度

令和4年度

### 「目の前の課題」解決による利便実感

#### ● 県民目線の課題解決

- ✓ 大雪対策 (除雪状況)
- ✓ 交通安全対策 (危険箇所)



#### ● 政策執行の再設計

- ✓ 伝わる情報発信
- ✓ デジタル広聴



#### ● 県民協働

- ✓ シビックテック
- ✓ 住民との共同実証



#### ● 外部パートナー協業

- ✓ 未来技術活用PJ等
- ✓ コロナ対策

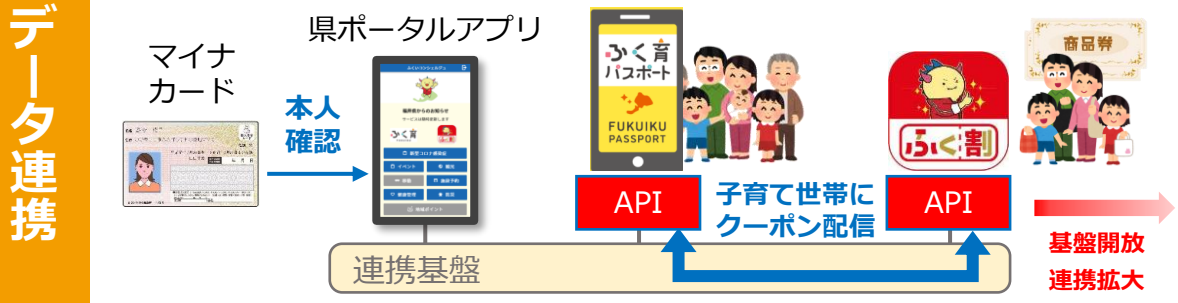


### デジタル基盤整備による公民共助モデル構築

#### ● ふく育・ふく割連携

子育てメディア (4万人登録)

クーポンアプリ (40万人登録)



データ連携

#### ● 地理情報共有

病虫害発生・道路損傷等の情報共有

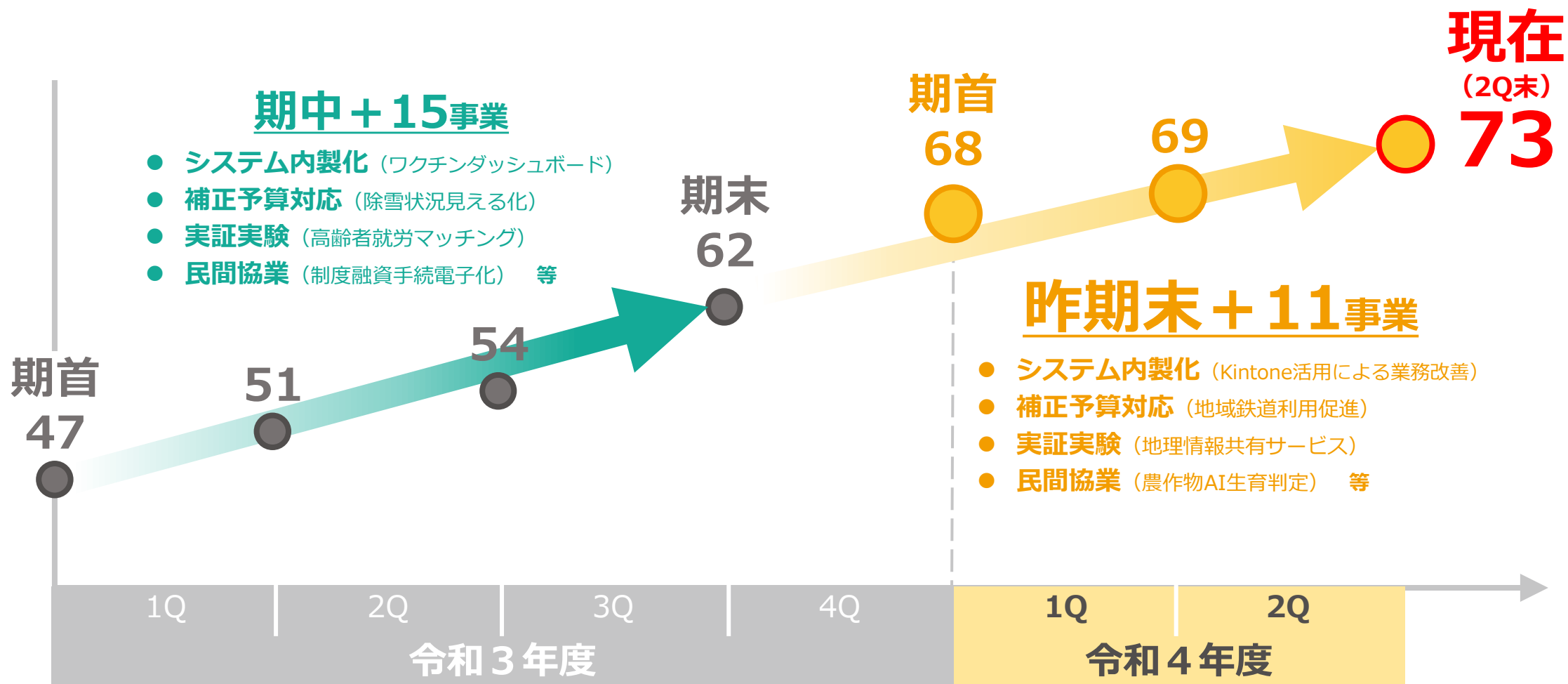
迅速な対応・業務効率向上に向けて実証



公民情報共有

# 07 DX推進機運の高まり

日々改善マインド・機動的対応により、量的拡大が継続



# 08 適応領域・日常利用の拡大

## 全庁幅広く先進的に事業推進、現場でのデジタル普段使いも進展 面的展開・質的向上

### ● 健康医療

#### ✓ へき地オンライン診療実証

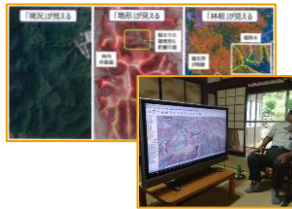
(予約、問診、診察、会計、薬の処方・配送：  
医療提供体制強化)



### ● 農林水産

#### ✓ 林業DX

(航空レーザー計測、森林情報共有・利用  
林業適地の選定による施業地確保の省力化)



### ● 安全対策

#### ✓ EBPMによる交通対策

(運転挙動データを用いたゾーン30エリア選定)  
※小中学校でのデータ分析授業も実施



### ● 観光誘客

#### ✓ マーケティング基盤構築

(アンケート・移動/消費データ等を分析提供)

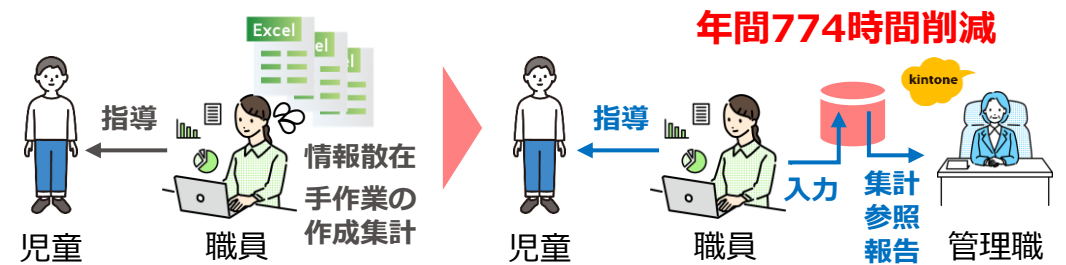


## 若手職員を中心に現場改善拡大

### ● システム内製化による業務改善

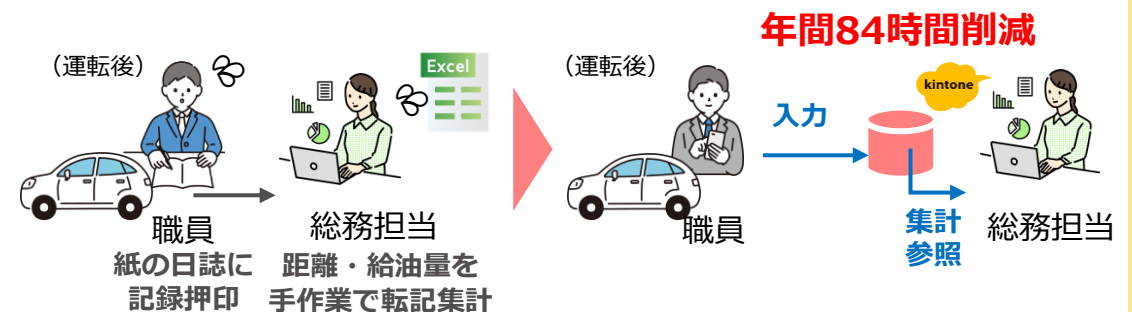
#### ✓ 和敬学園：児童の情報管理・計画策定の効率化

(散在するデータの一元管理、簡易な情報入力・閲覧・報告書等作成)



#### ✓ 丹南土木事務所：公用車運転記録の効率化

(運転後の即時記録、転記・集計作業の時間短縮)

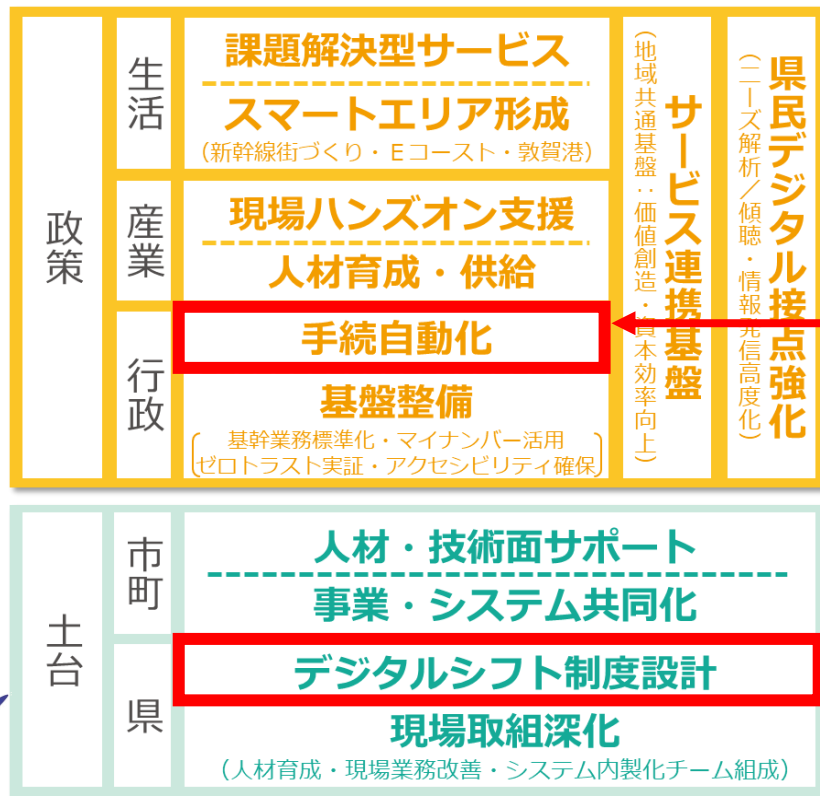






# 10 今後の取組方針（徹底した業務変革）

機運醸成・デジタル活用（D）の質量拡大を踏まえ、  
今後、「デジタルを前提とした業務見直し（X）」に徹底取組



- 日常動作のDX徹底  
（ペーパーレス・電子申請・データ分析・手作業低減等）
- アナログ規制／運用の全面見直し  
（デジタル臨調と足並みを揃えた対応）

デジタル前提での業務見直し（DX）



STEP3

集中的  
に取組

- DXを当たり前に（普段使い徹底）
- 人材面的拡大・現場取組深化
- デジタルにより「課題解決の仕組み」自体を変革

デジタル活用の質量拡大（DX）

STEP2

R4上期

- 推進体制整備  
（土台・仕組み作り）
- 意識変革・熱量醸成
- デジタルにより  
「目の前の課題」を解決

STEP1

機運醸成（dx）

令和3年度

令和4年度～

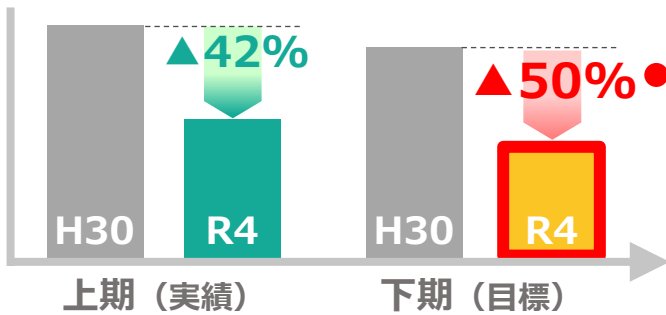
# 11 デジタル前提での業務見直し

## 日常動作のDX徹底・アナログ業務の全面見直しに取組

### 基本動作・県民接点のDX徹底

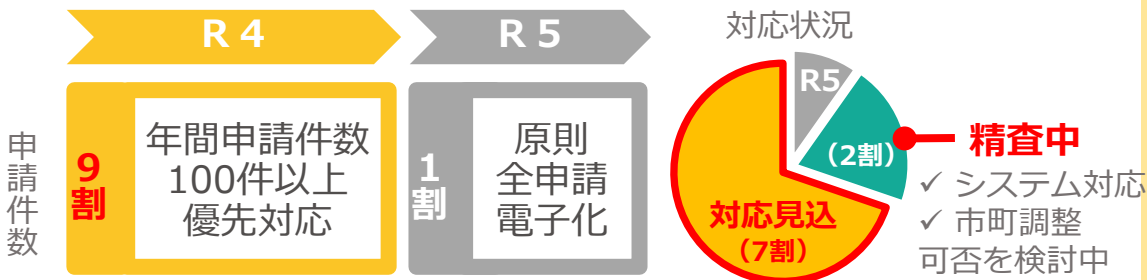
- **ペーパーレス** ▶ 上期実績で▲42%の状況  
下期▲50%達成に向けて取組

紙調達量



- **取組内容**
  - ✓ 調達量可視化
  - ✓ 目標上限水準設定
  - ✓ 電子決裁・FAXレス徹底
  - ✓ 行政手続電子化推進

- **電子申請** ▶ 手続9割電子化に向けて取組



### アナログ規制／運用の見直し

- **デジタル臨時行政調査会**

国：令和6年6月を目途に見直し（今後2年間）

#### アナログ規制の一括見直し

- ① 目視、② 実地監査、③ 定期検査、④ 書面掲示、⑤ 常駐専任、⑥ 対面講習、⑦ 往訪閲覧、⑧ FD指定



#### デジタル臨調と足並みを揃えた対応

- ▶ **アナログ規制（条例等）・運用の一括見直し推進**  
（国作成マニュアル・テクノロジーマップ等も活用）

# 3. 取組状況の説明

(令和4年度事業における成果等)

- **観光デジタルマーケティングの推進** (交流文化部)
- **県内企業のDX伴走支援強化** (産業労働部)
- **行政のDX・働き方改革の推進** (総務部)



# 観光デジタルマーケティングの推進

～データ分析システム「FTAS(エフタス)」の提供～

交流文化部

# 01 観光デジタルマーケティングの推進①

## 1 目指すこと

### - 稼ぐ観光地域づくりの推進 -

#### 3つの戦略

#### 1) 観光で稼ぐプレイヤー支援

- ▷ 商品の磨き上げ
- ▷ 商品化 / 商材開発 / ツアー造成

#### 2) 市町観光協会や地域DMO (設立) の支援

- (プレイヤーの事業環境整備のため)
- ▷ 市町の地域DMO設立に向けた勉強会など
  - ▷ 観光人材の育成

#### 観光消費額の向上

- ▷ 「ふくい観光ビジョン」目標  
令和6年度1,700億円

#### 3) 観光マーケティングデータの提供

- ▷ データに基づく観光地域づくりの推進

# 02 観光デジタルマーケティングの推進②

## 2 現状の課題や成果

福井県観光データ分析システム

「**FTAS** (エフタス)」の提供

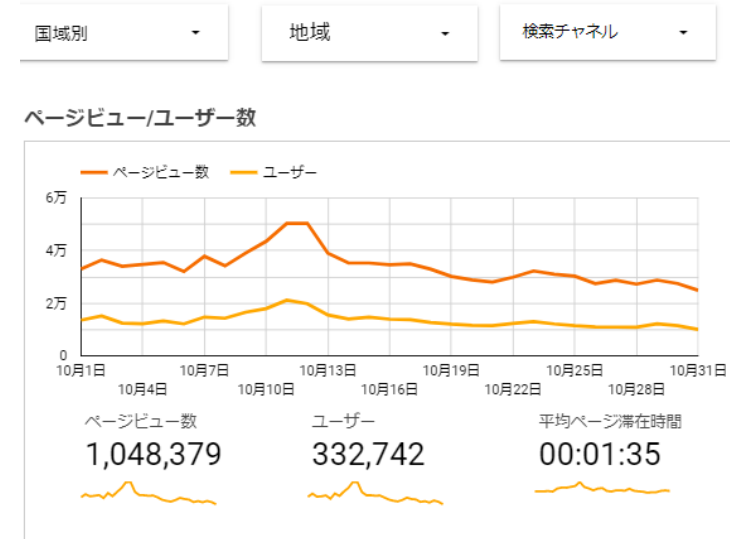
① 「ふくいドットコム」アクセスデータ

② 主要観光地人流データ (KDDI Location Analyzer)

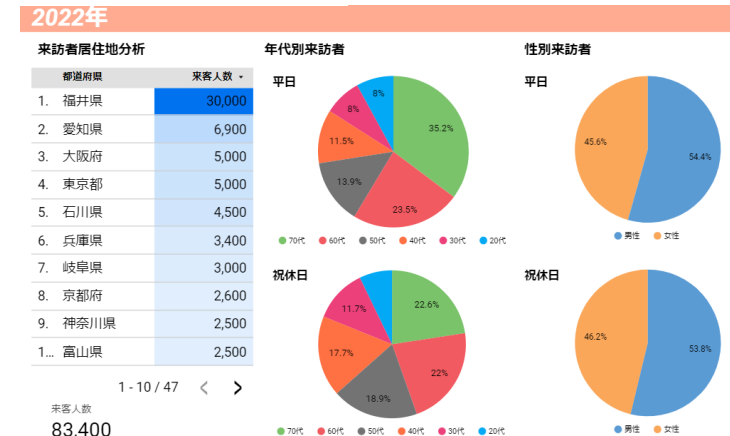
※福井県観光連盟会員のみ

③ アンケートデータのオープンデータ化

### ① FTAS 「ふくいドットコム」アクセスデータ



### ② 一乗谷朝倉氏遺跡



# 03 観光デジタルマーケティングの推進③

## 2 現状の課題や成果

### ● アンケートキャンペーンの実施



▷ 県内70エリア183か所に  
QRコード記載のポスター等を設置

▷ 観光客がQRコードから  
アンケートサイトにアクセス、回答

▷ 回答者の中から抽選で景品をプレゼント

- ① 県の特産品カタログギフト（28名）
- ② 「いちほまれ」100kg（1名）



4月～10月末時点で**約1万回答**を回収

### ● アンケートデータを基にした観光連盟の分析と対応（一例）

#### ▷ 三方五湖エリア

駐車場の混雑が、特にGWなどで満足度を低下させている

（提案）駐車場の混雑度の測定・観光客への公表  
→ 9～10月に駐車場の混雑状況を配信する  
実証実験を開始

#### ▷ 福井駅前エリア

1人旅の比率が高いが、利用可能な滞在型コンテンツが不足

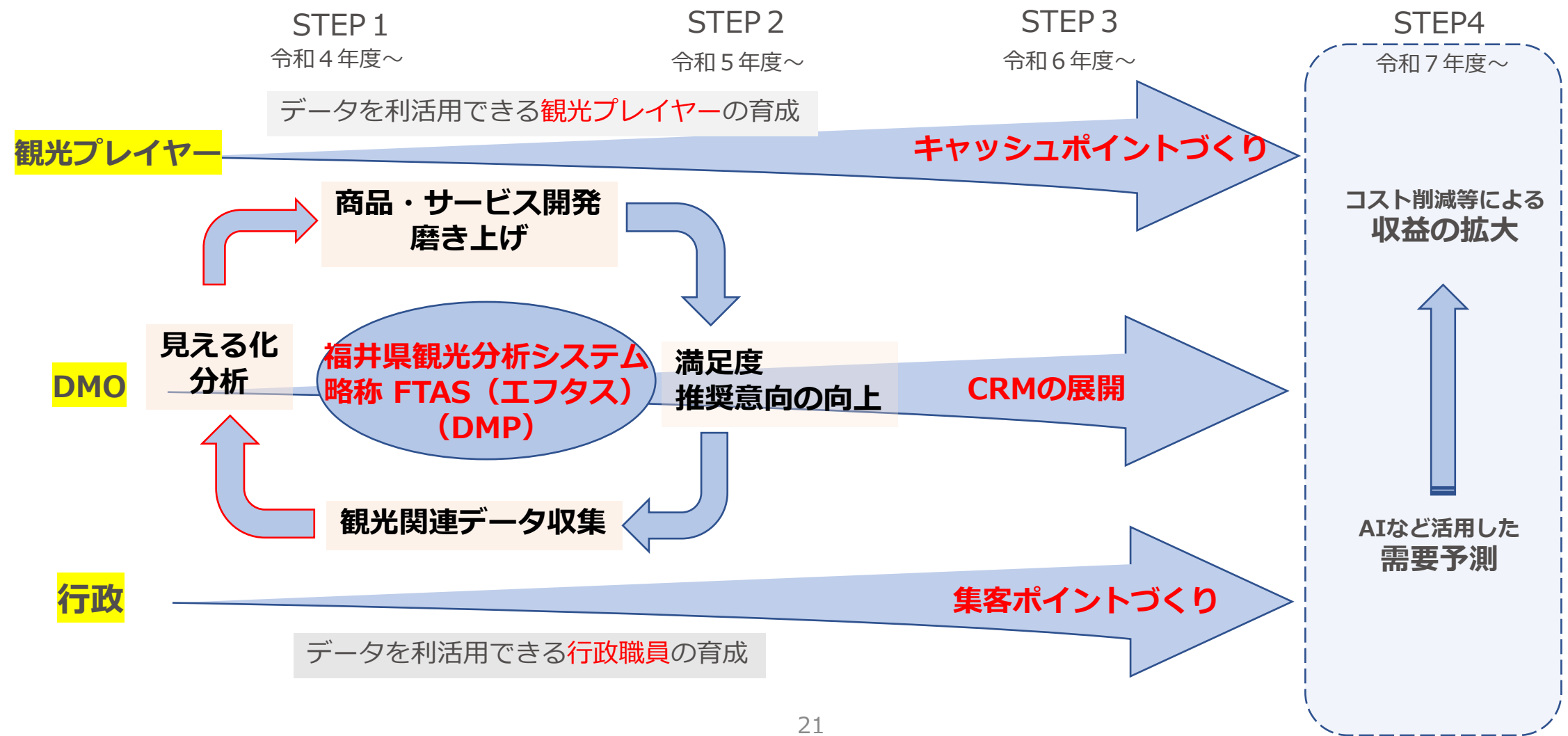
（提案）滞在時間延長・周辺への周遊促進のため、  
駅前のビル屋上を活用した「いちご狩り体験」を企画  
→ 来年2月にイベント実施  
3～5月にかけて常設化予定

### ● 課題

- ・ 県外観光客の回答データの伸び悩み
- ・ 事業者自らによるデータ分析・活用につなげるためのサポート体制

# 04 観光デジタルマーケティングの推進④

## 3 今後の展開



# 県内企業のDX伴走支援強化

産業労働部

# 05 県内企業のDX伴走支援強化①

## 1 現在の状況

○これまで、県内企業の業務効率化や付加価値向上を実現するため、相談体制整備、専門家派遣、伴走支援、宣言企業制度等を実施

→相談件数の増加など、支援機関としての認知度が上昇

【支援件数実績】

	R4.10月末	(参考) R3.10月末
出張型相談支援	24か所49件	— (R4新設)
ハンズオン支援	216件	140件
ふくいDX推進 宣言企業	14社	— (R4新設)



# 06 県内企業のDX伴走支援強化②

## 2 成果

- パン製造販売業において、製造工程時間・目標生産量・材料原価などの可視化を実現。開発した自社システムの外販も開始

→自社の生産効率・利益率の向上のみならず、  
企業形態の変革につなげる企業が出現

- 酒米を育てる圃場にIOTを導入  
遠隔操作可能な水門やセンサーを設置  
水位、水温等のデータ分析も併せて実施

→酒米品質の向上と適量収穫を実現

その他、県内企業が参考に出来る  
良いモデルを数多く創出





# 07 県内企業のDX伴走支援強化③

## 3 今後の展開

### ○専門家による伴走支援

- ・ITコーディネーター等の派遣などハンズオンのアドバイスの強化
- ・DXラボにおける相談の強化

### ○DX推進モデルの創出

- ・業界ごとの事業の特徴に着目したDXの推進モデルを創出
- ・DX推進宣言企業の拡大など、DX先達の企業群の形成

### ○DX事例の県内企業への波及による経営改革の推進

- ・モデル事例集の広報や企業向けセミナー開催を通じ県内企業への周知拡大
- ・県内企業が自分事としてDXを推進し、経営改革による収益構造の改善

# 行政のD X ・働き方改革の推進

総務部

# 08 行政のDX・働き方改革の推進①

## 1 目指すこと・方針

- デジタル技術を活用した働き方改革を進め、職員のワークライフバランスを向上
- 職員が能力を最大限発揮できる環境を作り、行政サービスの質や組織力を向上

### <DXと制度の両面から働き方改革を推進>

#### DX

- ・ **電子決裁・文書管理システム**や**テレワークシステム**などの整備
- ・ 業務の**ペーパーレス化**
- ・ **行政手続きのオンライン化**

#### 制度面

- ・ テレワークの実施場所の拡大
- ・ 早出遅出の通年化、フレックス試行
- ・ 男性育休の推進

# 09 行政のDX・働き方改革の推進②

## 2 進捗状況

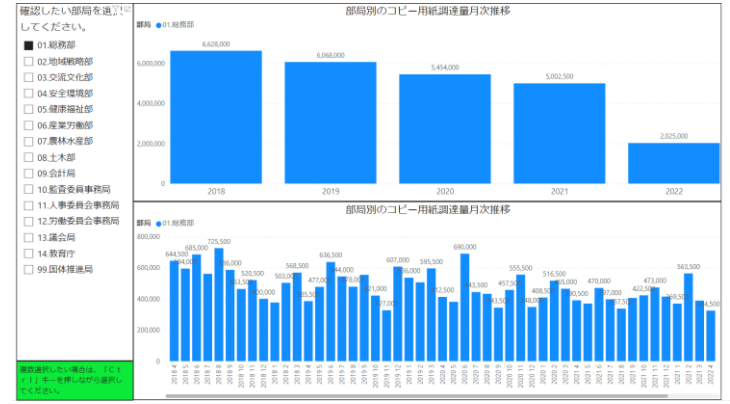
テレワークやペーパーレス、電子決裁など、DXによる新しい働き方が着実に浸透

- **テレワーク**
  - ① R3に1回以上実施した職員の割合：約**77%**
  - ② 月1回以上実施する職員の割合（月平均）
    - R3年度：約**22%** ⇒ R4上期：約**28%**
    - ※R4.7より実施場所を自宅以外にも拡大
  
- **ペーパーレス**
  - R3上期：約**30%** ⇒ R4上期：約**42%**
  - ※H30上期比、コロナ関連除く
  
- **電子決裁**
  - R4上期実施率：約**98%**
  - ※予定価格調書等の電子化困難なものを除く

- **職員の意識醸成**
  - ・ 庁内の優良事例等を紹介する、かわらばん「らいふすたいるしふと」を毎月発行
  - ・ 働き方改革関連の庁内サイト「LSS (Life style shift) ポータル」を開設 (R4.8~)
  - ※これまでに延べ**2,900回以上**の閲覧回数

- **DXによる業務改善の推進**
  - ・ R4.7より、ITスキルの高い職員を中心に「業務改善タスクフォース」を結成
  - ⇒ 第1弾として、**不要物品のマッチングサイト「ぶつりゅう」**を開設 (R4.9~)
  - ※10月末時点で**30件以上**の物品マッチング成立

○部局のペーパーレス状況を見る化



○物品マッチングサイト



# 10 行政のDX・働き方改革の推進③

## 3 今後の展開

下記の取組みを進めて新しい働き方を定着させ、生産性や業務効率をより一層向上

① R4年度中に、**テレワークの未経験者をゼロ※**にする ※対人業務など実施困難な所属を除く  
原則すべての職員が、希望する時や緊急時に確実にテレワークを実施できる職場づくりを整備

② R4年度下期の**ペーパーレス50%**を達成する  
部局ごとに紙使用量の上限目標を設定。業務のデジタル化によりペーパーレスを推進

③ **電子決裁の実施率ほぼ100%**を継続する  
研修等によるシステムの効率的な利用促進および行政手続きのオンライン化との連携強化

④ **庁内の業務改善が自発的に進む仕組み**を作る  
業務課題を抱える所属とITスキルの高い職員等をつなぐWEBシステム「スキルマッチング制度」を創設

# 4. 事務局からのお知らせ



# 參考資料



# 01 福井県DXの取組大要

## 令和3年4月より全県でDXを推進

### 地方の実情

県民・市町・産業にて  
**お悩みの方多数**

- ✓ DXとは何か
- ✓ 何がどう変わるか
- ✓ どう進めるか

生活の質が高い故  
**変化の必要性感じない**

#### 都市部との環境格差

デジタルサービスの

- ✓ 提供状況
- ✓ 利用環境

都市部への  
**デジタル人材偏在**

(水面上)  
**利便が実感できる  
デジタルの取組**

機運醸成  
肚落ち

両面から取組



業務遂行に向けた基盤整備  
(各部署専門知識×デジタル推進)

(水面下)  
**全県挙げた  
DX遂行を支える  
土台・仕組み作り**

#### 県民生活密着型サービスの先行提供

コロナ対策・地域課題対応・デバイド/産業支援

- ✓ 豪雪地帯 ▶ 除雪・道路情報可視化
- ✓ 車社会・交通事故多発 ▶ 危険区域可視化 等

#### 機動的な事業化

DX事業の期中拡大  
(47 ▶ 73事業)

#### 方針策定

- ✓ ビジョン・行動規範・DX政策集

#### 推進体制整備

- ✓ CDO配置・DX推進組織拡張
- ✓ 意思決定機関(トップダウン)
- ✓ 現場実行体制(ボトムアップ+自走仕組み化)

#### 意識変革

- ✓ 知事率先垂範・CDO全庁研修

#### 人材育成確保

- ✓ 研修体系整備(座学・実践・伴走型の3層)
- ✓ 職員採用DX枠創設・兼業型委嘱制度導入

#### デジタルシフトを促す制度設計

- ✓ 予算編成重点枠新設・ペーパーレス制度導入

#### 情報システム整備

- ✓ クラウド基盤・相談受付体制・取組可視化

県

#### 機運醸成

- ✓ CDO研修
- ✓ 出前講座

#### 取組共有

- ✓ 県市町共同ワークショップ
- ✓ 産業団体との共同研究

#### 共同PJ実施

- ✓ DX事業
- ✓ シビックテック
- ✓ システム共同利用

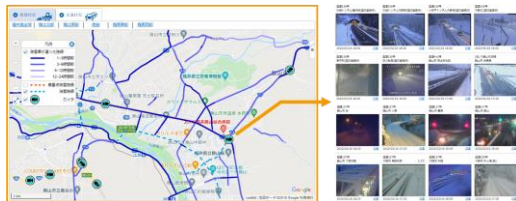
市町・産業との連携

# 02 デジタルの取組の特徴

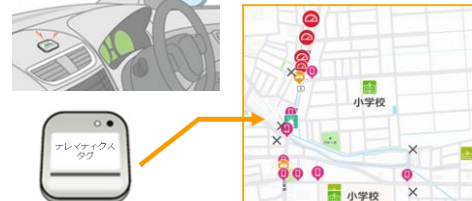
## 生活に密着した利便を実感いただき、DX推進の機運を醸成

### ① 県民目線・生活密着型の課題解決

**大雪対策DX**  
(即時の除雪状況等可視化)



**交通安全対策DX**  
(隠れた危険エリア可視化)



### ② 県民ニーズによる政策執行の再デザイン

**わかりやすい情報発信**  
(HP解析によるニーズ即応)



**政策形成への県民参加**  
(意見傾聴の場を実証運用)



### ③ 県民参加型の取組

**シビックテック**  
(現場首長・Code for等と協働)



**限界集落へのドローン物流**  
(地域住民との共同実証)



### ④ 外部パートナー協業 (民間・スタートアップ等)

**未来技術活用PJ**  
(民間協業での地域課題解決)



**コロナ対策 (福井モデル)**  
(データ分析・自動化・遠隔診療)



# 03 DX遂行を支える土台・仕組み作り

## 「各部署の専門知識 × デジタル」を進める基盤を整備

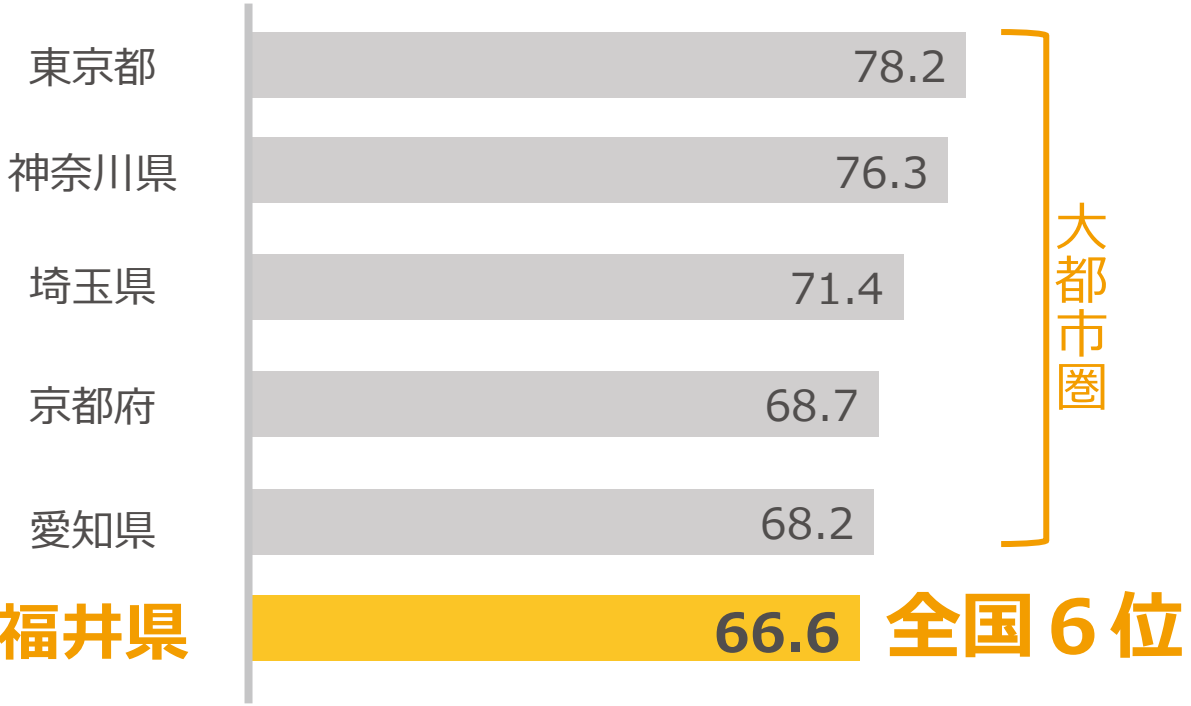
**DXプログラム策定**  
(ビジョン・行動規範・方針・政策)



# 04 DX推進の熱量の高まり①

## 地方発DX推進の最先端を目指して取組み

都道府県別デジタル度（野村総合研究所）  
**大都市圏に次ぐ全国6位の評価**



自治体DXアワード（日本経済新聞）  
**DXリード部門受賞**

【第三種郵便物認可】 【全面広告】 日本経済新聞

NDF 日経デジタルフォーラム  
NIKKEI Digital Forum

### 第1回 日経 自治体DXアワード

— 部門賞 —

- DX リード** ○愛媛県 ○磐城 ○都城市(宮崎県) ○福井県 ○三重県
- デジタル人材育成 ○真岡市(栃木県) ○北九州市 (愛知県)
- 行政業務/サービス変革 ○豊田市(愛) ○北九州市
- 地域産業デジタル化推進 ○倉敷市・井 ○北九州市
- 地域リテラシー啓発 ○都城市(宮)

**福井県**  
他自治体の手本となる  
全庁的なマネジメント体制の構築等

(出典) 野村総合研究所「DCIにみる都道府県別デジタル度」(2021.11)

(出典) 日本経済新聞(2022.4.4朝刊)



# 05 DX推進の熱量の高まり②

## 取組→評価の好循環により、現場の業務改善・意識変革が進展

取組初年度の令和3年度において、

全庁RPAキャンプ  
年間1万時間の削減

職員によるシステム内製化  
約30の自発的取組

日々改善のマインドと機動的対応  
令和3年度は期中+15事業




詳細 ...

RPA作ってみた～財務会計システム～  
2021/06/04に 向川 友博 が公開しました  
会社 352 @ 7♥  
RPAソフトを使って、財務会計システムの自動入力を作成しました。

〇〇〇〇来場者登録サイト  
～福井県～

来場ありがとうございます。  
新型コロナウイルス感染症対策として、来場者の方に氏名・連絡先等の登録をお願いしております。  
入力フォームから登録をお願いいたします。

名前(例: 福井太郎) \*  
福井太郎

電話番号(例: 0776200001) 数字のみで入力してください。 \*  
0776-20-0001

同行者数(選択してください) \*  
4

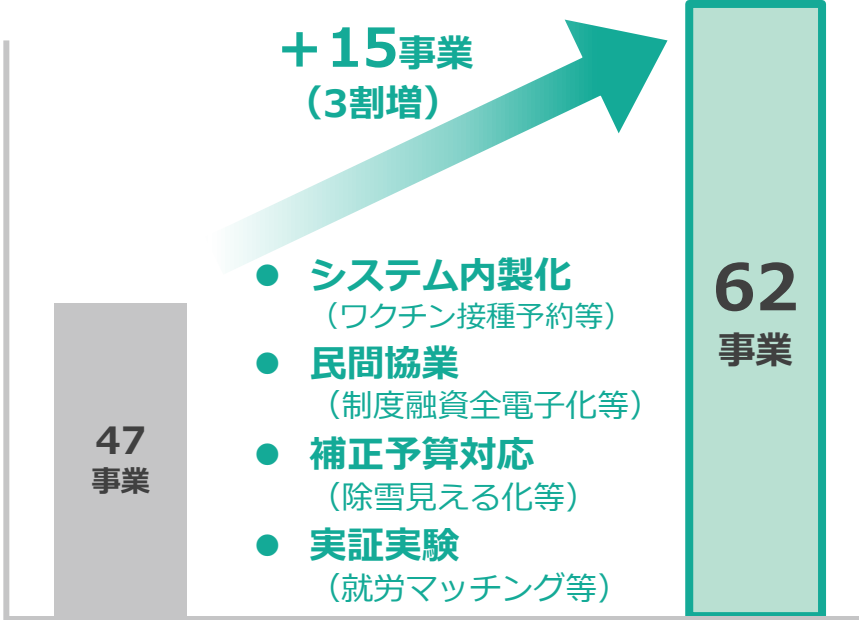


感染防止徹底宣言店舗一覧

17.12K

店舗名	業種	所在地
HOTEL NEXT NEO GRAND	ホテル	福井県福井市本町1丁目11-1
SP-ONE	その他	福井県福井市本町7丁目18-1
福井県立総合体育館	体育館	福井県福井市本町1丁目10-1
福井県立中央図書館	図書館	福井県福井市本町1丁目10-7
福井県立中央公民館	公民館	福井県福井市本町1丁目10-11
福井県立中央生涯学習センター	生涯学習センター	福井県福井市本町1丁目10-11

QRコード読取式「感染防止対策店舗」  
来場者管理システム 情報表示



R3期首

R3期末

# 06 行政DXの取組① (県:令和3年度)

## デジタルを普段使いする土台 (意識変革・体制・熱量醸成) を整備

### ① 推進体制整備

- **D Xプログラム制定** (ビジョン・行動規範・方針・政策)
- **研修・セミナー**シリーズ実施開催 (CDO・補佐官・県庁・市町・県民向け)
- **D X推進本部設置** (トップダウン: 意思決定機関)
- **D Xリーダー招徠** (ボトムアップ: 現場実行体制)
- **研修体系整備** (座学・ハンズオン・伴走の3層型)
- **採用制度等新設** (D Xアピール特、CDO補佐官委嘱)
- **デジタルシフト制度導入** (ペーパーレス・予算編成重点特)
- **情報システム整備** (クラウド基盤・相談受付体制・取組可視化)
- **市町ワークショップ実行** (市町の計画策定・体制整備・事業執行を支援)

- 方針策定
- 意識変革
- 体制整備
- 自走仕組み化
- 人材育成確保
- 制度設計
- システム整備

### ② インフラ整備

**クラウド業務基盤** (MS365ベース・リモート前提)

**ペーパーレス (▲50%)** (電子決裁化・使用量可視化)

### ③ 生産性向上に向けた第一歩

**全庁RPAキャンプ** (年間1万時間超削減)

**システム内製化** (30超の自発的取組)

**データ分析** (民間専門家伴走)

### ④ 共創文化醸成 (CivicTech・県民接点再定義)

**外部連携強化** (Codefor連携・OpenData)

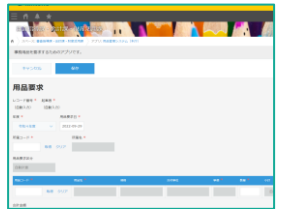
**県民接点見直し** (情報発信・意見傾聴)

# 07 行政DXの取組② (県：令和4年度)

## 現場取組の拡大深化、行政手続の自動化を目指して取組み

### ① 現場生産性向上

**業務改善**  
(ローコード：40超の全庁取組)



**人材育成方針策定**  
(スキルマップ等体系化)

要件	役割区分	保有すべきスキル
戦略・組織運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営マネジメント層（管理職）</li> <li>デジタル技術等を活用した事業推進の監督、所属内の推進体制構築・人材配置育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リーダーシップ</li> <li>人事管理</li> <li>組織文化の運営</li> <li>マネジメント構築</li> </ul>
プロジェクト運営・専門スキル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロジェクトリーダー層（専任以上）</li> <li>デジタル技術等を活用した事業推進の専任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プロジェクトマネジメント</li> <li>DX実践知識</li> <li>UI/UXデザイン、データ分析、クラウド、IoT、AI、ネットワーク、内製化、デジタルマーケティング等</li> <li>DX推進スキル</li> </ul>
リテラシー・知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般職員</li> <li>実務に準拠・遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DX基礎知識</li> <li>デジタル技術、データ活用、デザイン思考</li> <li>業務改善</li> <li>システム開発・運用</li> <li>アジャイル開発・IT連携等</li> <li>協働</li> </ul>
マインド・デジタル理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXリーダー</li> <li>所属のDX推進を支援（一部研修必須化し、より高度なスキルを取得）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXとは何か</li> <li>実用活用</li> <li>情報セキュリティ・コンプライアンス</li> <li>ハンズオン型実践</li> </ul>

### ② DXコミュニティ活性化

**全庁的な参画**  
(1年で1,000名超参加)



**相談受付・事例共有**  
(毎日数十件の職員投稿)



### ③ 県民利便性向上

**電子申請**  
(手続9割電子化)



**施設予約**



**情報共有**



### ④ デザイン思考・EBPM実践の強化

**ホームページ見直し**  
(アクセス解析：情報精度向上)



**デジタルマーケティング**  
(データ分析：機動的対応)



# 08 産業DXの取組①（令和3年度）

## 環境整備・相談体制構築・人材育成・資金支援の土台を整備

### ① DXオープンラボ開設



県内中小企業のDX推進拠点  
(公財 ふくい産業支援センター)

- 拠点整備（5GBase等）
- コミュニティ機能
- DX推進チーム配備  
(DXアドバイザー&専門家)

### ② DX推進チームによる支援



専門家派遣・支援機関連携

- 専門家支援 144件
- 企業への派遣 50社
- 勉強会・研修会 延べ  
実践セミナー 1,000名超

### ③ 人材育成



- エンジニア養成スクール開講  
約300時間のプログラムを提供  
(35名修了・4割県内就職)
- 企業内のDX人材育成  
企業内DX推進を目的に  
県内企業の社内人材を育成

### ④ 資金支援



IoT・AI・ロボット導入補助金  
(中小企業へ先端技術導入を促進)

- 【取組事例】  
AI画像検索システム導入による  
検品作業自動化 等



# 09 産業DXの取組② (令和4年度)

## 伴走支援強化、即戦力人材確保、モデル企業育成により裾野拡大

### ① 伴走支援の強化



- **相談業務**  
DX推進チームによる相談増加  
(7カ月で昨年同期を超過)
- **出張相談**  
商工会議所・商工会と連携  
(24回、49社支援)

### ② 人材確保策



- **外国人人材モデル登用**  
産業支援センターから派遣  
(1社目：約半年の研修実施中)
- **県外人材雇用**  
県外IT人材雇用時に補助金支給
- **エンジニア養成スクール**  
産業界の要請に応じ、  
実践的カリキュラムへ見直し

### ③ モデル企業の育成



- **社内体制整備支援**  
専門家を重点的に派遣  
(5社支援)
- **ふくいDX推進宣言企業**  
専門家派遣の上、経営トップ  
自らDXを推進 (14社登録)

### ④ 投資補助



- **DX加速化補助金**  
企業の規模・投資規模に応じ、  
DX導入初期投資を支援 (23件助成)  
※小規模事業者の補助率を拡充 (2/3)

# 10 産業DXの取組③（徹底現場主義）

## 県民・企業の目線・日常密着型でのデジタル利用を支援・促進

### ① 消費喚起策とセットでのDX促進

#### 電子クーポンアプリ「ふく割」

（県民の半数超40万人が、県内5,900店舗で日常的に利用）

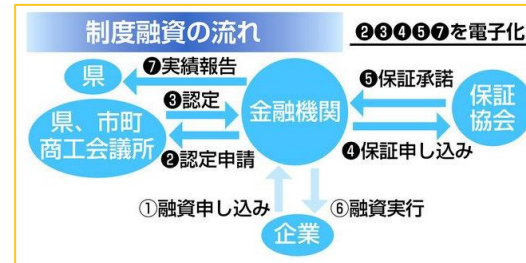


市町連携

若者対象

### ② 県制度融資の全手続き電子化

申請から融資実行まで、事業者の資金需要に迅速対応



- 県内8金融機関、商工会議所、県信用保証協会等と連携
- 最短10日程度から半減
- 郵送等廃止による作業効率化
- 電子化協議会を立ち上げ

### ③ スマート農林水産業の推進

自動運転機・ドローン活用  
（負担軽減・収益性向上）



AIによる生育判定  
（カメラをかざして生育診断）

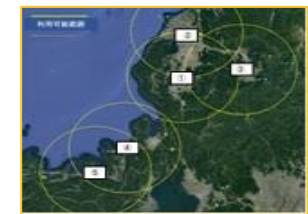


### ④ 産業活用のデジタル基盤整備

県民衛星データ活用  
（防災・土木森林農地管理等）



GPS固定基地局運用  
（県内全域をカバー：高精度作業）

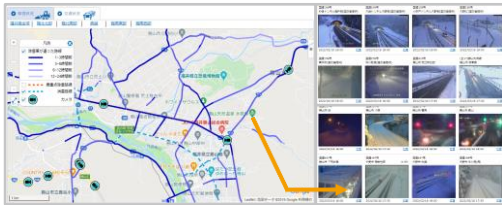


# 11 生活DXの取組①（令和3年度）

## 生活に密着した利便を実感いただき、「目の前の課題」を解決

### ① 県民目線・生活密着型の課題解決

大雪対策DX  
(即時の除雪状況等可視化)



交通安全対策DX  
(隠れた危険エリア可視化)



### ② 県民ニーズによる政策執行の再デザイン

わかりやすい情報発信  
(HP解析によるニーズ即応)



政策形成への県民参加  
(意見傾聴の場を実証運用)



### ③ 県民参加型の取組

シビックテック  
(現場首長・Code for等と協働)



限界集落へのドローン物流  
(地域住民との共同実証)



### ④ 外部パートナー協業（民間・スタートアップ等）

未来技術活用PJ  
(民間協業での地域課題解決)



コロナ対策（福井モデル）  
(データ分析・自動化・遠隔診療)





# 12 生活DXの取組② (令和4年度：データ連携)

## 公民共助モデル構築により、「課題解決の仕組み」を变革

サービス連携基盤 (サービスありきでの連携)  
子育て世帯にクーポンをプッシュ配信

基盤を市町民間へ開放し、産官学民で公を担う共助モデル構築  
地域課題解決の在り方 (仕組み) を变革

### 地域課題解決サービスを創造

- 汎用API接続 (低コスト・短期間)
- マイナカード活用 (公的個人認証)
- データ分散型連携基盤

マイナンバーカード



本人確認

子育てメディア

クーポン発行アプリ

4万人登録

40万人登録

福井県ポータルアプリ



API

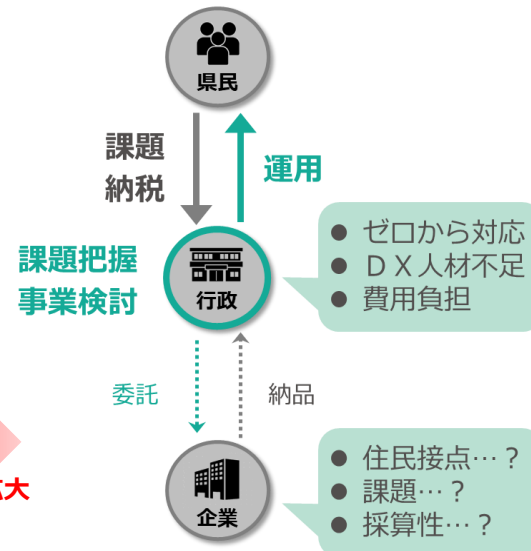
API

子育て世帯に  
クーポン提供

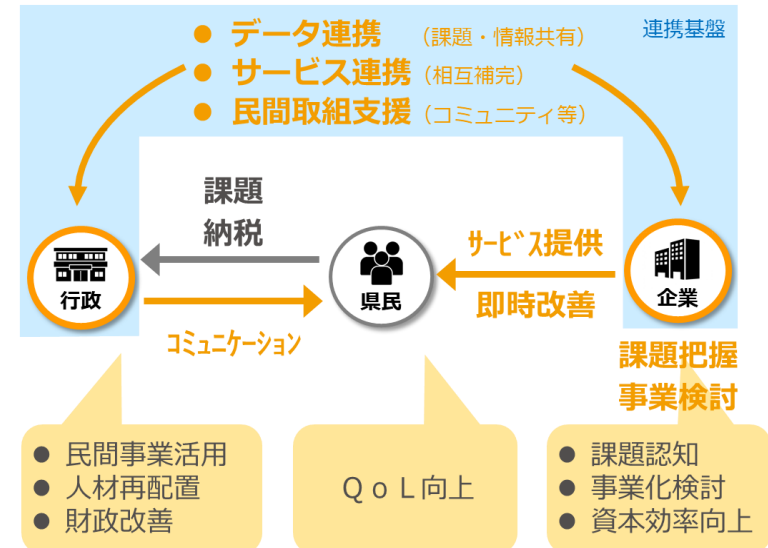
連携サービス拡大

連携基盤

### これまで

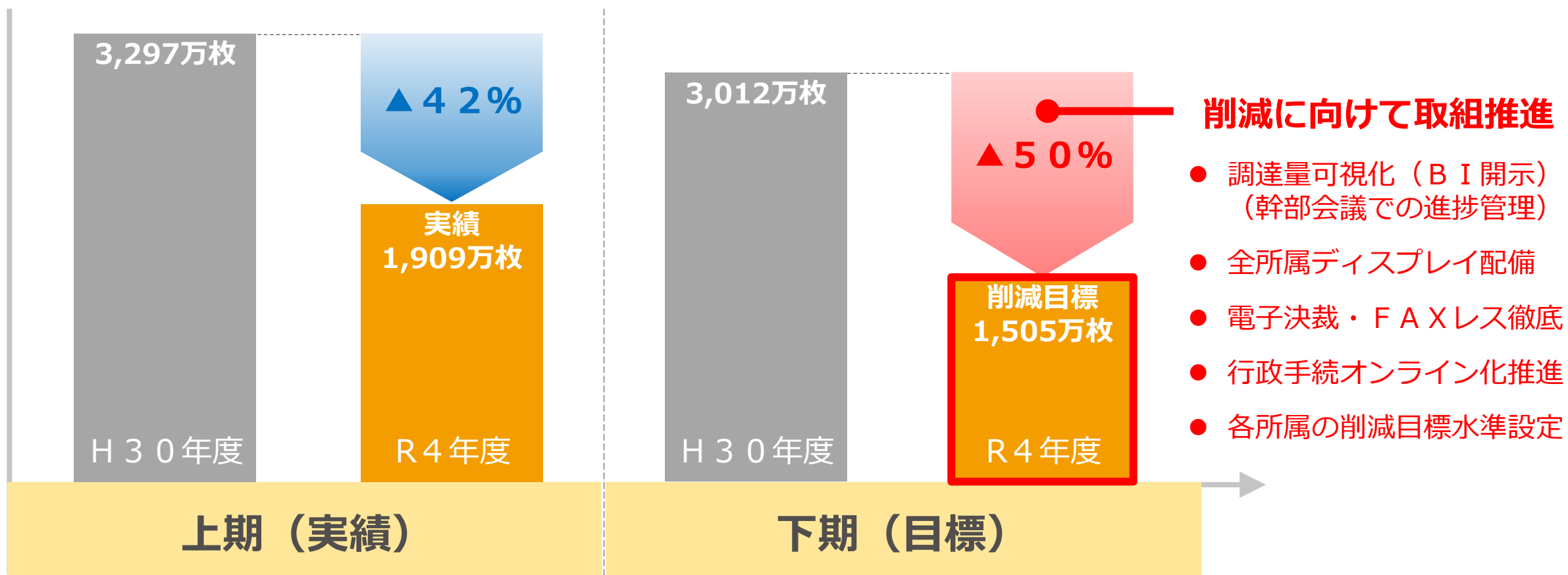


### これから (県民を中心に「共助」の社会へ)



# 13 ペーパーレスの取組

上期累計（R4.4～9月）で、▲42%の状況。  
下期累計（R4.10～R5.3月）での▲50%減達成に向けて取組



# 14 庁内業務改善の取組（システム内製化）

## 若手職員を中心に業務改善に取組

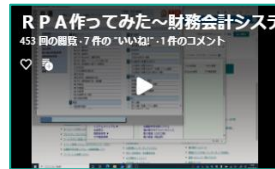
～R3年度

### RPA中心に取組

（システム内製化は自発的取組）

- 経費確認・支払業務
- 執行伺い作成業務
- データ入力・台帳作成業務  
（入札関係・ふるさと納税・農業関係 等）
- 財務会計システム操作  
（補助金交付関係・各種支払業務 等）
- コロナ対応業務 等

使い方動画



RPAキャンプ



### 30超のシステム内製化取組

- コロナワクチン接種予約受付
- 公共施設入館管理 等

削減効果

約10,000時間

R4年度（11月現在）

### システム内製化取組を点から面に

（全庁的な業務改善に向けて取組）

- 児童の情報管理・自立支援計画策定
- 用品要求
- 庁内照会業務効率化  
（個人情報保護に対応した情報確認 等）
- 公用車運転記録管理  
（運転記録・アルコールチェック 等）
- 農作物生育状況管理 等

ロールプレイ研修



取組イメージ



### 80業務の改善に取組中

+約5,500時間（見込み）

# 15 デザイン思考の実践 (HP改善)

## 県民が情報を容易に入手できるホームページへ改善

現 情報が未整理で文字ばかり

新 閲覧者が求める情報を上位にわかりやすく配置



①注目キーワードを表示  
ニーズが多い情報に迅速に到達可

②緊急情報等を上部に大きく表示  
必要とする情報に迅速に到達可

③注目情報を見やすい形で表示  
重要情報の見逃しをなくし、  
閲覧の待ち時間を解消

※その他、解析結果に基づき、コンテンツを再配置

EBPM実践 (データ解析→実証→改善) により  
県民目線での情報発信に見直し





# 16 EBP Mの実践 (交通安全マップ)

## 実際の「運転挙動データ」を活用した交通安全対策に取り組

～R3年度

### 隠れた危険エリア見える化実証

テレマティクスタグ



地域の  
学校や企業等  
36団体454名協力

リアルな運転挙動データ  
を取得・分析・公開

福井県交通安全マップ  
<https://fsafety-map.app>



R4年度 (11月現在)

### ゾーン30エリア指定にデータ活用



- 実証データを活用した交通安全対策
- 対策前後の車の挙動を分析・効果検証

小中学校での活用  
(データ分析学習)



生徒が通学路データを分析し  
交通対策を考え発表

取組の横展開  
(実証エリア拡大：越前市)











# 17

## 課題解決型サービスの取組（未来技術活用PJ）

### 新たに6つのプロジェクトに取組

	分野	提案内容	実証を通じて解決を目指すこと
	農林水産	AI活用による害獣個体検出	<ul style="list-style-type: none"><li>● 加害個体に絞った効率的な捕獲</li><li>● 二ホンザルによる農業被害や人身被害等の防止</li></ul>
	観光教育	CO <sub>2</sub> センサ等を用いた施設の混雑状況予測等	<ul style="list-style-type: none"><li>● CO<sub>2</sub>濃度や人流情報を活用した混雑状況可視化、回遊率向上</li><li>● 学校現場の学習環境改善（感染症や熱中症の予防）</li></ul>
	観光	統計データを利用した県内観光地の特徴分析 （観光客の人流・ペルソナ分析・調査）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 県内に訪れる観光客の特性把握</li><li>● 観光客特性に合わせた施策実現（商材開発・広報等）</li></ul>
	農林水産	衛星データ・AI活用による農地確認業務効率化	<ul style="list-style-type: none"><li>● 作付け状況の目視確認回数の低減（自治体の負担軽減）</li><li>● WEBアプリを用いた、作付け台帳のデジタル化</li></ul>
	農林水産	農産物のシェアオーナーサービスの導入 （生産者と消費者をつなぐプラットフォームの構築）	<ul style="list-style-type: none"><li>● 農業体験提供等による、県産品の認知度向上・ファン獲得</li><li>● 農業従事者の収益安定化、高付加価値化への寄与</li></ul>
	防災	防災行政無線へのデジタル加工音声の導入 （高齢者等が聞き取りやすい音声）	<ul style="list-style-type: none"><li>● すべての住民が聞き取ることができる防災無線の実現</li><li>● 災害発生時の適切な伝達、迅速な避難誘導</li></ul>

# 18 県内市町の取組 (デジタルサービス)

## 子育て・観光・移住・交通等の住民向けサービスを提供

